

非競争輸入型産業連関表の接続方法の一試案

山梨大学 宇多賢治郎¹

1. はじめに²

筆者は、これまで我が国の1990年以降の非競争輸入型の産業連関表（基本表、基本分類）を用い、我が国経済の構造変化を捉える研究を続けてきた。この研究の特徴は第一に、5年に一度作成される非競争輸入型産業連関表の部門分類の調整を行い、細かい部門分類での時点間の分析を行っていることである。第二に、非競争輸入型産業連関表の特性を活かせるよう、競争輸入型を前提に作成されている分析手法を、非競争輸入型に合わせて改良して用いたことである。

特徴の一番目にあげた部門調整は、作業を行った時点では最新の2005年の基本表の部門分類を参考に、調整用の部門分類を作成し、1990年、1995年、2000年の三時点の表を調整する形で行い、2011年表が公表された時点で2011年表を追加した。しかし、この方法では、2005年の部門分類に合わせるように分割もしていたため、後から改めて2011年に合わせることは困難になっていた。そのため、2011年の部門分類に合わせた再調整は行わなかった。また加工の方法上、時点が離れれば、それだけ作業工程が累積的に増加してしまう作業方式を採っていたため、長期間の調整が難しくなるという欠点もあった。現に、今回の研究の初期段階では、同じ方法で2011年の基本分類に合わせて1980年表、1985年表を追加することを試みたものの難航し、断念した。

この失敗を踏まえ、改めて2011年の産業連関表を基準に、部門を整理し直すことにした。ただし、これまでの失敗を踏まえ、1975年以前の、また今後公表される産業連関表を組み込みやすいよう、拡張の余地を残す方法を用いることにした。そのため基本表だけでなく、接続表の部門分類も参考にすることにした。接続表の部門は三時点、10年間の産業連関表の部門を揃えるように調整がされている。この調整方法を参考にし、また異なる接続表の同じ時点の表を比較することで、基本表だけで接続するよりも効率よく調整ができるようにした。

本稿は、この方法を用いて2011年の部門分類（基本分類）を参考に調整した7時点（1980年、1985年、1990年、1995年、2000年、2005年、2011年）の非競争輸入型産業連関表の調整方法と、今後説明していく研究成果の導入として、これらを用いた分析結果の一部を紹介する。

2. 産業連関表の部門調整

2-1. 調整方法

筆者はこれまでの研究で、我が国の2011年表公表以前の非競争輸入型産業連関表（基本表、基本分類）の部門を調整した、4時点の非競争輸入型表の接続表（以下、「4時点接続表」）を用い

¹ 山梨大学（教育学研究科准教授）、kuda@yamanashi.ac.jp

² 長年、産業連関表、その基礎となった各種統計の作成に関わってこられた方々に深く感謝申し上げる。

てきた。この表は、2005年の部門分類を参考にして作成した調整用の部門分類に合わせて1990年、1995年、2000年、2005年の4時点の表を調整したものである³。部門分類の説明で「基準に」ではなく「参考に」としたのは、2005年の部門分類そのままではなく、接続しやすいよう調整したものを採用したことによる。

また、この「4時点表」を踏まえ、追加的に二つの産業連関表の加工を行った。第一に宇多・新井(2015)では、2005年基準の非競争輸入型の2011年延長表を調整した。この加工は、新井(2015)の研究成果である、非競争輸入型の2011年延長表を用いて行った。この2011年延長表の部門分類は2005年と同じため、調整作業は最低限で済んだ。第二に宇多(2016)では、公表された2011年表を「4時点接続表」に合わせて調整して加え、「5時点接続表」にした。この調整作業では、2005年に合わせたものを再度加工することが困難であったこと、また速報性を優先した当時の事情から、2005年の部門分類を参考にした分類に合わせて2011年表を加工した。

これに対し、今回は7時点(1980年、1985年、1990年、1995年、2000年、2005年、2011年)の産業連関表(以下、「7時点接続表」と表記)を調整した。この表では、調整用の部門分類は2000-05-11年接続産業連関表の部門分類を参考にした。

この「7時点接続表」を作成するために必要な統計データは、以下のとおりである。

- ・基本表7時点(1980年から2011年、自家輸送あり、非競争輸入型)、合計7表
- ・基本表7時点(1980年から2011年、自家輸送あり、競争輸入型)、合計7表
- ・接続表3種(1980-85-90表、1980-95-2000表、2000-05-11表、競争輸入型)、合計9表

接続表には非競争輸入型が存在しないことから、合計23表を用い、7時点の基本表を調整した非競争輸入型、競争輸入型の合計14表を作成した。

これらの1980年から2011年の7時点の表の部門を調整するにあたり、以下の基準を設けた。

第一に、自身のこれまでの研究方法に合わせ、国内最終需要における使用や利用の目的を、調整の基準にした。例えば、1980年はまだ有線、それも黒電話が主流であったのに対し、2011年は無線の携帯電話、それもスマートフォンが主流になりつつあった。また、自動車はガソリン車が主流であったのが、近年はハイブリッドや電気自動車が増えている。これらは生産活動や技術面からすれば、大きな変化であろう。しかし、離れた人と連絡を取る、離れた場所に移動するといった目的で捉えれば、同じか近いものであることから、そのように扱うことにした。ただし、中間需要が多い部門では、生産活動を参考に調整するようにした。

第二に、初めから正方行列、つまり行と列の部門が同じ状態に調整し、その方法は統合のみとした。「4時点接続表」では極力部門数を減らさないことを優先したため、行と列の部門を揃えず、それぞれ統合・分割を行って調整していたのに対し、「7時点接続表」では第一の基準に反しないよう統合するようにした。

これら二点の基準を踏まえ、次の調整作業を行った。

³ 「4時点接続表」を使った研究成果としては、本誌に掲載された著者の論文を参照。なお、「4時点接続表」の部門分類の調整方法は公表していない。

第1段階：7時点の基本表と接続表の部門比較

各接続表に掲載されている部門の調整方法を参考に、基本表の部門の調整方法を検討した。ただし、時点が重なっている1990年、2000年は、公表年が遅い方の接続表を用い、検討を行った。

第2段階：接続表3種間の部門比較

接続表3種の部門分類を比較し、「2000-05-11年接続表」の部門分類を参考に、「7時点接続表」共通の部門分類を作成した。なお、調整の際は、第一段階の重複している1990年、2000年は、その時点の表がある2つの接続表の部門分類を参考にした。

第3段階：7時点の基本表の部門整理

第1段階、第2段階で比較した結果に基づき、各基本表の部門と「7時点接続表」の対応関係を示す、部門分類の調整表を作成した。

第4段階：7時点の基本表の部門調整（305部門）

以上の作業で作成した対応表を使い、基本表を「7時点接続表」の部門に調整した。

この「7時点接続表」の部門数を、基となった各種産業連関表や以前作成した「4時点接続表」、それを拡張した「5時点接続表」と比較したものが、表1である。

表1 産業連関表の部門数

	1980年	1985年	1990年	1995年	2000年	2005年	2011年
7時点接続表	1980-85-90-95-2000-05-11年(正方305部門、2011年ベース)						
接続表1	1980-85-90年(445行357列)						
接続表2			1990-95-2000年(511行399列)				
接続表3					2000-05-11年(510行389列)		
基本表	541行406列	529行408列	527行411列	519行403列	517行405列	520行407列	518行397列
4時点接続表			1990-95-2000-05年(正方397部門、2005年ベース)				
5時点接続表			4時点接続表に、2011年を追加(2005年ベースのまま)				

表1下部にある「4時点接続表」と「5時点接続表」は、時点間の部門分類の変更箇所が多くなかったこと、また部門調整の際に分割も行っていたことから、部門数を正方397部門に減らす程度で済んでいた。これに対し、この方法をそのまま今回の加工で用いるのは、以下の二つの理由から困難であった。

第一に、1985年表、1990年表は、前時点と比較して部門が大きく変更がされており、「4時点接続表」を加工する際に用いた方法で調整することは困難であった。そこでこの変更に対応できるよう、延長表の部門分類を参考にした。なお、1980-85-90年以外の接続表の列が基本表の列よりも10部門程度少ないのに対し、1980-85-90年接続表の列数が、基本表の列数よりも50部門程度少ないことから、この延長表作成のための調整が大変であったことがうかがえる。

第二に、「4時点接続表」では、時点間の数だけ調整を必要とした。例えば、1990年表の部門を2011年表に合わせるなら、1995年表、2000年表、2005年表、2011年表と4回変換することが必

要であった。これに対し、延長表の部門分類と比較し、分割を行わないことによって、時点が離れた表であっても一回の変換作業で加工を済ませるようにした。このようにして作成した部門分類表が文末の表2から表6、また部門調整の方法を示した部門調整方法一覧表が文末の表7から表17である。

なお、今回の方法では、以下の問題が解決できていないことを指摘しておく。

第一に、「7時点接続表」の1980年と1985年には、行と列の総生産額が合わない部門がある⁴。これは調整しすぎることにより、最終需要における目的別に調整するという、第一の基準に反してしまうことを避けるためである。第二に、行と列の値が一致していても、時点間で内容が異なることがある⁵。これは部門の定義が時点間で変更されたことによるが、今回は定義の変更に合わせた分割等の調整は行わず、統合のみで済ませた。

3. 分析方法

3-1. 生産誘発分析の分析可能な範囲

次に、「7時点接続表」を使って分析した結果の一部を紹介する。今回は今後の研究の導入として、文末の表7から表17で示した部門調整方法を基本表に適用したものを扱い、我が国の生産誘発構造を分析する。

本研究が産業連関表を用いる理由は、国民経済計算など動態統計の数字を追うだけでは、把握できない我が国の経済循環構造の一部である、生産誘発構造を見るためである⁶。

この経済循環の構造を示したものが、図1である。

⁴ 表2～表6の部門一覧の内、1980年の「麦類」(2)、「その他の食用耕種作物」(9)、「飼料作物」(10)、「種苗」(11)、「その他の非食用耕種作物」(13)、「鶏卵」(17)、「肉鶏」(18)、「金属鉱物」(28)、「砂利・採石・碎石」(30)、「鉄道旅客輸送」(234)、「鉄道貨物輸送」(235)の値が一致しない。また、1985年では「鉄道旅客輸送」(234)、「鉄道貨物輸送」(235)の値が一致しない。

⁵ 例えば、1980年の肉類(14～19)は、接続表にする際に各肉とその他で分割・統合が行われている。これを統合だけで調整するなら、畜産と漁業、また関係する加工業を全て統合することになるため、今回はそのまま残した。

⁶ 1990年以降の我が国の経済循環は分配、再分配の方の問題の方が深刻であろうが、これを一時点の構造を捉える産業連関表だけでは示すことができない。これらを示すには他の分析が必要であり、その不足を補うため宇多(2018a)、宇多(2018b)などを上梓した。

図1 一国経済の「経」(流れ)

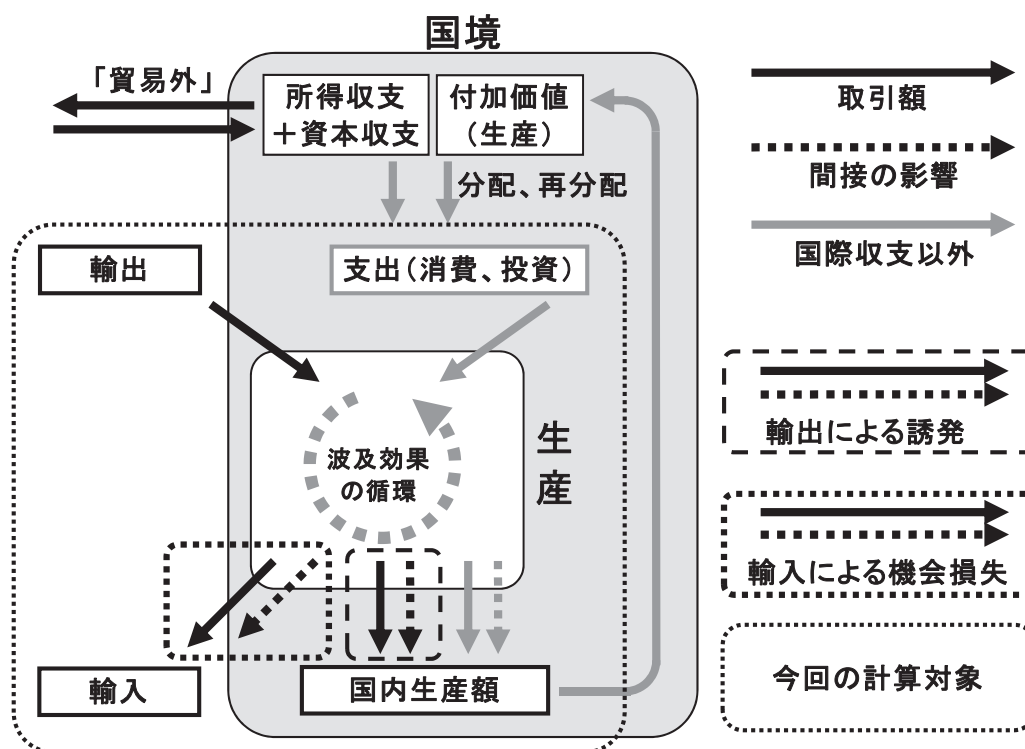


図1の矢印は「波及効果」、ある経済主体が他に促す経済活動の連関を、経済活動に伴う金の流れに即して示したものである。また、今回用いる生産誘発分析は、点線の範囲内にある産業連関の構造を捉えるためのものである。筆者はこれまでの研究でも、経済構造とそれがもたらす「波及効果」の変化を分析しており、本稿で説明するのは対象とする期間を広げたものである⁷。

3-2. 貿易による生産誘発効果

今回の分析では、これまでの研究成果と同様に、以下のように生産誘発効果を示す。

まず、国内最終需要に基づいて競争輸入型産業連関表で求めた生産誘発額を、我が国にある生産誘発効果の基準値とする。つまり、GDPを分母にして貿易依存度を計算するように比を求める。ただし、GDPには純輸出が含まれる形で貿易の影響が加わっているのに対し、この計算では国内最終需要が「閉鎖経済」であればもたらされる生産誘発効果を基準値に用いる。

また貿易の生産誘発効果を、次のように分解して示す。第一に、生産誘発効果を直接と間接に分けて示す。輸出ならば、輸出額そのものが「直接の効果」、輸出によって国内で間接的に生産が誘発される額が「間接の効果」である。

第二に、輸入による負の生産誘発効果として、「機会損失」(Opportunity Loss)を計算する。「機会損失」とは、ミクロ経済学的な「機会損失」の考えに基づいたもので、輸入という手段を採ったことにより、損なわれる生産誘発効果額を計算するものである。この「機会損失」は、あくま

⁷ 宇多(2012a)など、これまでの研究成果を参照。

で国内の生産誘発の「機会」が損なわれた額であり、国外に流出した生産誘発効果ではない。つまり、閉じた経済圏を想定して競争輸入型表で生産誘発効果を求め、非競争輸入型表の値と比較することで、国内で発生するはずであった生産誘発効果が、どれだけ失われるのかを捉えている⁸。

第三に、「自給度」と「収支」の二種類を計上する。「自給度」は、「生産誘発効果」(プラス)と効果の「機会損失」(マイナス)の差分である⁹。この「自給度」は「内需」による生産誘発のうち輸入によって機会を失った分を、輸出による生産誘発によって補えた度合いを示し、値が負ならば貿易を行うことで生産誘発効果が減ってしまうことを示す¹⁰。また、「自給度」に『外需』の機会損失を加えたものを「収支」とする。この「収支」により生産誘発効果を国内に留める構造をしているかを示すことができる。

これらの表現を用いることにより、本分析では自国で必要なものをまかなっている状態を基準に、各年の貿易が国内経済にもたらす影響を見ていく。つまり、生産誘発をどの程度国内に留める構造なのかを示す「収支」と、その状況下でどの程度自給ができているかを示す「自給度」の二つの値を使って、貿易による国民益を示す。

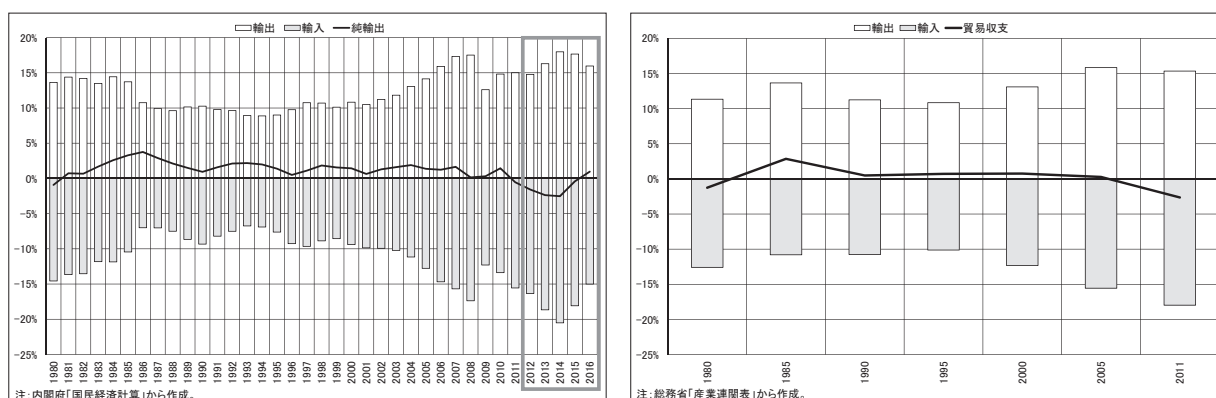
4. 分析結果

4-1. 我が国の生産誘発効果の自給度と収支

本稿の主目的は、「7時点接続表」の加工方法の説明であるため、「7時点接続表」を使った分析結果の説明は、導入的なものに留める。

初めに、生産誘発効果の収支の変化を分析する。図2左は国民経済計算を、図2右は産業連関表を用い求めたものである¹¹。

図2 我が国の貿易収支（国内最終需要を分母として、求めた貿易依存度）



⁸ 国外へ「流出」した生産誘発効果を計算するためには、国際産業連関表が必要になる

⁹ 「自給度」は、スカイラインチャートの「自給率」から100%を引いた値になる。

¹⁰ まず生産誘発構造を捉えるための計算を行い、実態を把握することを目的とする。

¹¹ 『国民経済計算』を用いる場合は、分母はGDPになり、国内最終需要だけでなく純輸出が含まれる。

図2左の、グラフ右側にある灰色の囲み線は、2011年以降のまだ産業連関表が作成されていない期間であることを示している。

この図2は、GDPの額と輸出、輸入額を使って示される貿易依存度に近いものである。ただし、貿易依存度がGDPを分母とするのに対し、図2は純輸出（輸出マイナス輸入）を含めない国内最終需要額が分母になる。これを見ると、1980年の貿易赤字が1985年に黒字に転じ、1990年以降は1～2%程度のわずかな黒字を維持していたのが、2011年に赤字に転じたことが確認できる。なお、2012年以降の貿易収支を国民経済計算で見ると、図2左が示すように赤字が続き、2016年に貿易黒字に転じたことが確認できる。

図3は、産業連関表を使って、各年の生産誘発効果を示したものである。

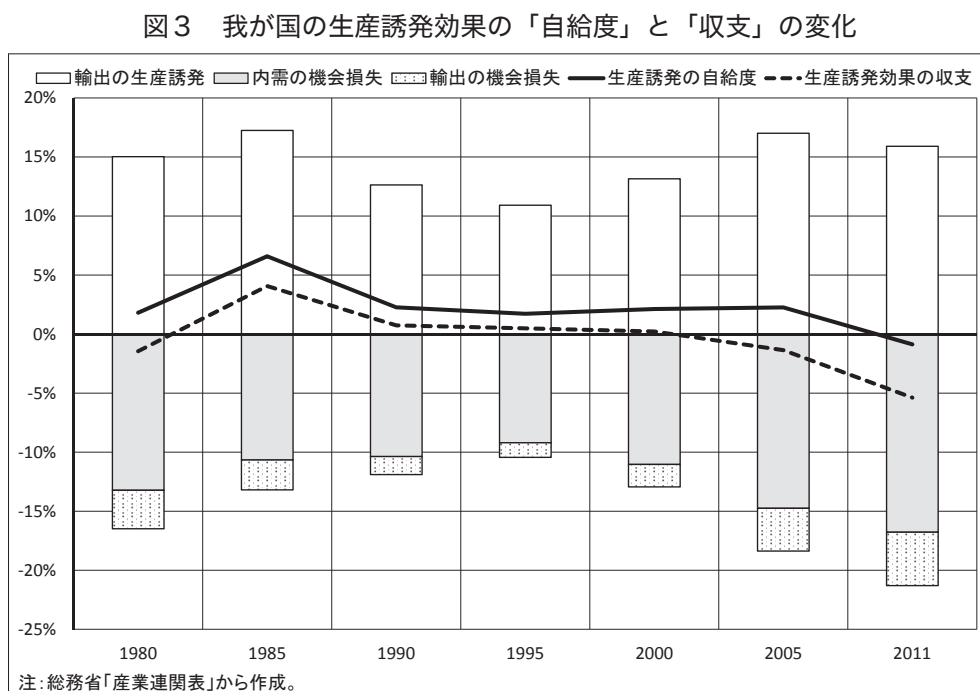


図3を見ると、生産誘発効果の「自給度」と「収支」が最も高いのは1985年である。つまり、この時期が最も輸出による生産誘発効果が多く、輸入による「機会損失」が少なかったことになる。その後、貿易依存度は輸出、輸入ともに減少し、1995年が最小になった以降増加し、生産誘発効果が失われやすい構造になったことで、「収支」は2005年に、「自給度」は2011年に赤字に転じている。つまり、貿易による様々なメリットの一つであった生産誘発効果は、2011年には失われたことになる。

また1980年は、図2が示すように貿易赤字であったのに、生産誘発効果では「自給度」がプラスであった。つまり、生産誘発効果の「自給度」の正負は、貿易の黒字・赤字だけでは決まらず、生産構造によっては正負が逆転することがある、ということが確認できる。

また同様の計算を、経済産業省作成の地域間産業連関表で行ったものが、図4である¹²。

¹² 宇多(2014a)のために作成したグラフ(未掲載)を使用。

図4 我が国の生産誘発効果の「収支」と「自給度」の変化（地域間産業連関表）

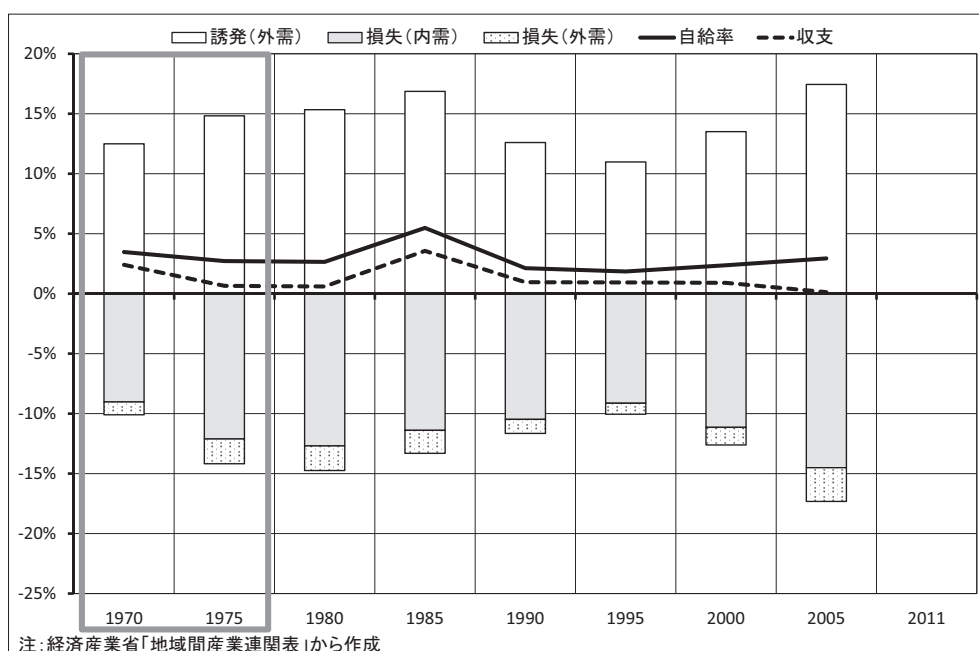


図4の、グラフ左側にある灰色の囲み線は、「7時点接続表」には含まれない1970年代の結果であることを示している。地域間産業連関表は最多の部門分類でも比較的部門が揃っており、部門を揃えやすいことから、1970年と1975年の計算も行うことができた。その一方、2011年は図4の作成時点では公表されていいため、空白になっている。この図4を見ると、1970年は「自給度」、「収支」共に高かったのが、1975年、1980年と低下し、1985年に増加したことが確認できる。これは宇多（2014）で示したように、石油価格の高騰によるものと考えられる¹³。

4-2. 「内需」、「外需」の生産誘発効果の比較

次に生産誘発係数、それぞれ国内最終需要額、輸出額が、元の額の何倍の生産誘発効果をもたらすかを示す¹⁴。ここでは国内最終需要による生産誘発効果を「内需」、輸出による生産誘発効果を「外需」と表記する。

図5は「内需」、「外需」の別に生産誘発係数と、また生産誘発効果が国内にどれだけ留まるかを示す「国内残存率」を示したものである。

¹³ 宇多（2014b）、p.15、図1の特殊分類の貿易統計を使って示した貿易依存度と内訳のグラフに基づく。

¹⁴ 国内最終需要はいくつかに分かれるが、その生産誘発効果をまとめて「内需」とする。この内訳は作成の基準とするSNAによって異なるため、本来ならば調整が必要である。しかし、本研究では国内最終需要をひとくくりにした分析を行っているため、結果的にその問題は回避できている。

図5 「内需」、「外需」の生産誘発係数と「国内残存率」

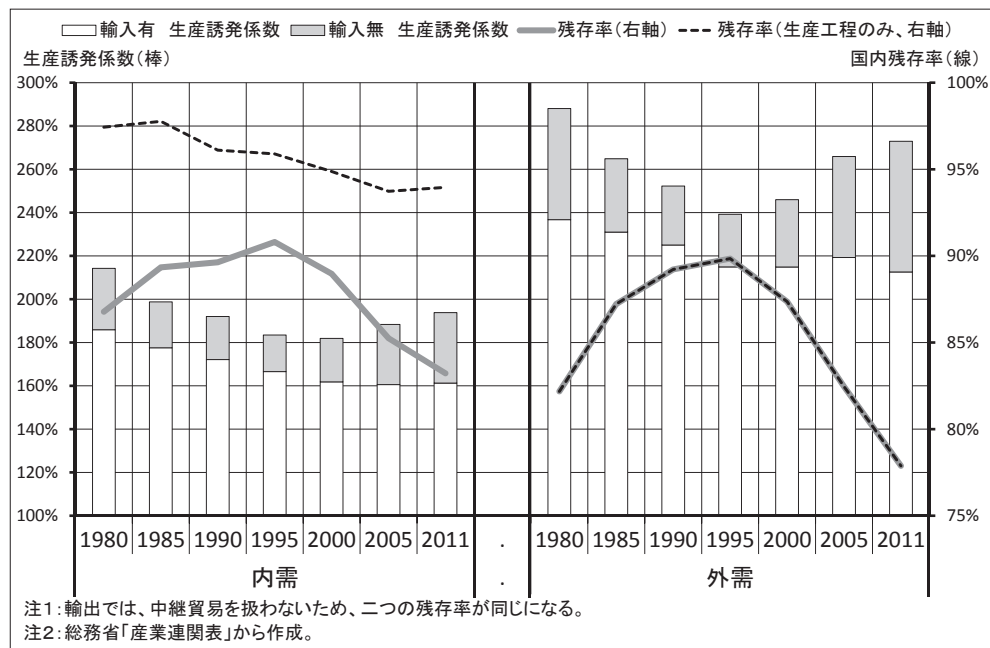


図5の棒グラフは生産誘発係数を示したものである。棒グラフの灰色の部分には輸入による生産誘発の「機会損失」を、白い部分は国内で生じた生産誘発効果を示したものである。また、折れ線グラフは「国内残存率」、つまり輸入によって「機会損失」が生じたものの国内に留まった生産誘発効果の比率を示す値である。

折れ線グラフの灰色の線は、生産誘発の最終需要時点の国産と輸入の選択も含めた「全行程」の「国内残存率」を示している。一方、点線は「生産工程」のみ、最終需要で国産が購入されて以降の「生産工程」で測った「国内残存率」を示している。例えば、最終需要に対する国産の供給がゼロになれば、「国内残存率」もゼロになる。なお、産業連関表では中継貿易をその部門の需要としないため、輸出は国産100%として計上される。これにより、輸入財は輸出されないものと扱われるため、「外需」の「国内残存率」は「全行程」、「生産工程」の値が一致し、二つの折れ線グラフは重なることになる。

これを踏まえ図5を見ると、「国内残存率」は「内需」、「外需」の共に1995年まで増加し、以降は減少に転じていることが分かる。次に、図5左の「内需」のグラフの内訳を見ると、棒グラフ全体は2000年まで減少し、その後は増加に転じている。これは輸入をしない場合の生産誘発効果は2000年以降増加していたことになる。しかし棒グラフの白い部分が示すように、2000年までは生産誘発効果が減少していたのが、2000年以降は横ばいで留まっている。

またこの変化により、国内の最終需要から生産工程までの「全行程」を示す灰色の折れ線グラフは1995年まで増加し、それ以降は減少していた。これに対し、中間財輸入による「機会損失」のみを示した「生産工程」の「国内残存率」は、1985年以降減少を続けていた。このことから、1995年以降は最終需要に占める国産財の増加が、下がるはずの「国内残存率」を増加させていたことが分かる。

次に図5右の「外需」の棒グラフを見ると、「内需」と同様に、生産誘発係数は1995年まで減

少し、以降は増加している。しかし、輸入による「機会損失」により相殺され、1995年以降の係数（白い棒グラフ）は同じ程度の水準に留まっている。また折れ線グラフを見ると、「内需」と比べて、2011年の「国内残存率」の減少が大きいことがわかる。

これらの結果を、産業連関表や国内最終需要と輸出の性質を踏まえてまとめると、次のようになる。

第一に、産業連関表における輸出の捉え方が、結果に違いをもたらしている。既に説明したように、産業連関表では中継貿易をその部門の輸出と扱わないため、「外需」では「生産工程」のみの「国内残存率」と、最終需要での国産と輸入の選択も含めた「全行程」の、二つの「国内残存率」の値が一致していた。一方、「内需」では「生産工程」の「国内残存率」が1980年から一貫して減少していたのに、「全行程」では「外需」と同じく1995年まで増加し、それ以降は減少していた。

第二に、需要される部門の構成の違いが、結果に違いをもたらしている。我が国は「加工貿易」と呼ばれるように、資源のように加工度が少ないものを輸入し、自動車のように加工度の高いものを輸出することが多いため、「外需」の生産誘発係数は高くなる。これに対し「内需」は、様々な最終財が需要されることから、「外需」に比べて生産誘発係数は低くなる。

第三に、生産における輸入の違いが、結果に違いをもたらしている。国内最終需要はその最終財、またその生産に使われる中間財の輸入が少ない、あるいは輸入と扱われないサービス関連の部門が占める率が高いのに対し、輸出の構成は財が多く、サービスが少ないことから、中間財輸入の増加により、生産誘発の「機会損失」が生じやすい性質を持つ¹⁵。その結果が、2011年の「国内残存率」に表れていた。

これらのことを踏まえれば、図5の1995年以前の変化は「内需」、「外需」共に、生産誘発効果は減少しながらも、「国内残存率」を高めるように変化していた。これに対し、1995年以降は生産誘発効果が増えるように国内最終需要、輸出の構成が変化していた一方、中間財の輸入が増加したことにより効果が相殺されていたことが分かる。このように、1995年あたりに経済構造の変化が大きく転換していたことが確認できる。

4-3. 輸入による機会損失

最後に輸入による生産誘発効果の「機会損失」の変遷を捉える¹⁶。

図6は、輸入による生産誘発の「機会損失」から、係数を求めて示したものである。

¹⁵ 例えば、外資のサービス産業の利用は、輸入ではなく国内と扱われ、その利潤の移転は、産業連関表では扱われない。一方、国際収支統計ではサービス輸入ではなく、所得収支に分類している。

¹⁶ 国外への生産誘発額の「流出」を捉えるには、国際表を用いる必要がある。ただし、我が国の非競争輸入型表と比べて国際表の精度が劣ることを踏まえた上で、分析を行う必要もある。

図6 輸入による生産誘発の「機会損失」の変化

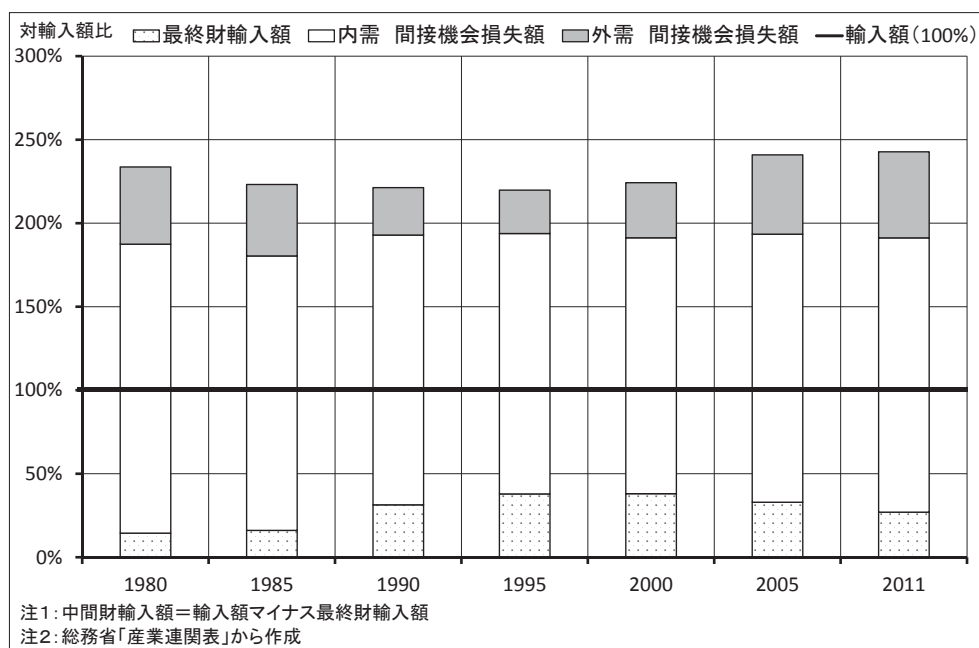


図6のグラフは輸入額を100%とし、その内訳や輸入による生産誘発の「機会損失」を比較したものである。そのため棒グラフ全体は輸入額に対する輸入による「機会損失」の比率、つまり輸入による直接・間接の生産誘発の「機会損失」を係数で示したものになる。また折れ線グラフの高さが輸入額、つまり直接効果であるため棒グラフの最終財輸入額と100%の間が、中間財輸入額の構成比になる。また、折れ線グラフよりも上は、貿易の統計には表れない、輸入が国内生産にもたらす間接的な「機会損失」の効果を示すことになる。

図6の棒グラフは、輸入額に占める最終財の比率が2000年まで増加し、それ以降は中間財の比率が増加していることを示している。また図5の「内需」や「外需」のほど棒グラフの高さが変化しないことから、図3で示した1995年以降の輸入による生産誘発の「機会損失」の額の増加は、輸入額の増加によることが分かる。また棒グラフの内、外需の「機会損失」が1995年まで減少した後に再び増加していることから、輸出によって国内に引き込んだはずの生産誘発効果が、輸入によって相殺される度合いが増加したことが分かる。

4-4. 分析のまとめ

以上の分析結果から、我が国の経済構造が、今回追加した1980年、1985年の結果を含め、1995年までは生産誘発構造が国内により留まるように変化していたのに対し、それ以降は逆に国内に留められなくなっていったことが確認できた。

経国済民（マクロ）の視点で国民益を考えるとという立場で説明するのならば、貿易はそれ自体の値を評価するだけでなく、貿易が国民にもたらす福祉（Welfare）を評価するのが望ましいはずである。このことを踏まえ、本研究の分析結果を見ると、1980年、2011年はどちらも貿易収支は赤字であったが、国内の生産誘発効果で見た場合は、1980年はプラス、2011年はマイナスと逆になっていた。つまり、同じ貿易赤字の状態でも、1980年は輸出による生産誘発効果が輸入によ

る「機会損失」よりも多かったことが分かる。これは、貿易による利点が、生産できないもの、足りないものが入手できるため生活が豊かになるという単純なものだけでなく、国内経済に与える影響もプラスにすることができていたことを意味する。これに対し、2011年では輸出の生産誘発効果よりも輸入による「機会損失」の方が多くなり、国内経済に与えるプラスの影響という利点は失われていた。

これらの結果から1980年から2011年までの構造変化は、1995年の前後で逆転していたことが分かる。1980年から1995年までは貿易による国内への生産誘発を高めることができていた。これに対し、1995年以降は貿易の生産誘発効果が国内に留まらなくなっていた。つまりこの頃に経済構造の変化が、生産誘発効果という結果に現れるようになったことになる。

これらの結果は、動態統計だけでも把握できる表面的な変化を根拠に、グローバル化や国際分業等を益か害かの二極論で断ずるだけでは、近年の経済構造の変化を見落としてしまうことを示している。そのため、持ちうる手段を駆使し、時には従来の評価方法を現時点の経済を検証するのに適しているかという視点で見直し、必要があれば開発する研究の姿勢が重要であることが確認できる。

5. おわりに

本稿では、接続産業連関表の部門分類を参考に、1980年以降の非競争輸入型の産業連関表（基本分類）を調整し、1980年から2011年までの7時点の接続表を作成し、その表を使った分析結果の一部を示した。

産業連関表の部門分類は、作成時の経済構造また産業構造に合わせて変更されてきた。そのため、その部門分類のまま時点間の比較を行うためには、部門調整を必要とした。そこで本研究では3時点、10年間の表を接続した接続産業連関表の部門分類を参考に、7時点の非競争輸入型の産業連関表（基本表、基本分類）を調整した。今回用いた方法は、以前作成した4時点の接続表よりも拡張をしやすいことで1980年以前、また2011年表以降の表を組み込むことを可能にしたものである。

また、接続表と比較して部門を調整したことで、同じ調整を行った接続表と合わせて用いることで産業連関表を固定価格評価、いわゆる「実質化」が可能になった。この「実質化」を行った非競争輸入型産業連関表の作成方法と、表を用いた分析の結果は、別稿で説明する予定である。最後に、本稿で示した分析結果は導入的なものであるため、今回のような部門調整をせずとも計算可能である、という指摘が可能な内容に留まっていることを明示しておく。

参考文献

Simpson, David., Tsukui, Jinkichi. (1965), “The Fundamental Structure of Input-Output Tables, An International Comparison”, *The Review of Economics and Statistics*, Harvard University Press.

宇多賢治郎 (2011) 「貿易構造が我が国の生産誘発効果に与える影響（基本分類の非競争輸入型

産業連関表の意義)」、『経済統計研究』、第38巻第4号、経済産業統計協会。

宇多賢治郎 (2012a) 「我が国内の生産誘発効果の国際収支的分析」、『経済統計研究』、第39巻第4号、経済産業統計協会。

宇多賢治郎 (2012b) 「我が国経済の構造変化の比較分析」、『経済統計研究』、第40巻第1号、経済産業統計協会。

宇多賢治郎 (2014a) 「地域間産業連関表を活かす生産誘発分析への一提案」『経済統計研究』、第41巻第4号、経済産業統計協会。

宇多賢治郎 (2014b) 「国際収支の経済波及効果の試算 後編：国際収支が国内経済に与える波及効果の概算」『山梨大学教育人間科学部紀要』、第15巻、山梨大学教育人間科学部。

宇多賢治郎 (2017) 「非競争輸入型産業連関表の比較検証」、『経済統計研究』、第44巻第4号、経済産業統計協会。

宇多賢治郎 (2018a) 「経済動向を示す値と経国済民の関係 前編：収支バランスと経国済民」、『山梨大学教育学部紀要』、第2巻、山梨大学教育学部。

宇多賢治郎 (2018b) 「経済動向を示す値と経国済民の関係 後編：経済成長と経国済民」、『山梨大学教育学部紀要』、第2巻、山梨大学教育学部。

宇多賢治郎、新井園枝 (2015) 「非競争輸入型延長産業連関表を用いた我が国経済の構造分析」、『経済統計研究』、第42巻第4号、経済産業統計協会。

尾崎巖、石田孝造 (1970) 「経済の基本的構造の決定ー投入・産出分析の手法によるー1ー」、『三田学会雑誌』、第63巻第6号、慶応義塾経済学会。

穴戸駿太郎 監修 (2010) 『産業連関分析ハンドブック』、東洋経済新報社。

総務省 (1984) 『昭和55年 (1980年) 産業連関表 総合解説編』。

総務省 (1989) 『昭和60年 (1985年) 産業連関表 総合解説編』。

総務省 (1994) 『平成2年 (1990年) 産業連関表 総合解説編』。

総務省 (1995) 『昭和55-60-平成2年接続産業連関表 総合解説編』。

総務省 (1999) 『平成7年 (1995年) 産業連関表 総合解説編』。

総務省 (2004) 『平成12年 (2000年) 産業連関表 総合解説編』。

総務省 (2005) 『平成2-7-12年接続産業連関表 総合解説編』。

総務省 (2009) 『平成17年 (2005年) 産業連関表 総合解説編』。

総務省 (2015) 『平成23年 (2011年) 産業連関表 総合解説編』。

総務省 (2017) 『平成12-17-23年接続産業連関表 総合解説編』。

藤川清史 (1999) 『グローバル経済の産業連関分析』、創文社。

横倉弘行 (1999) 『Excel によるベーシック経済学』、窓社。

表2 1980～2011年、7時点接続表部門表、部門一覧（1 / 4）

内生 305 部門（1～50）		内生 305 部門（51～100）	
1	米	51	調味料
2	麦類	52	冷凍調理食品
3	いも類	53	レトルト食品
4	豆類	54	その他の食料品
5	野菜	55	清酒
6	果実	56	ビール類
7	砂糖原料作物	57	ウイスキー類
8	飲料用作物	58	その他の酒類
9	その他の食用耕種作物	59	茶・コーヒー
10	飼料作物	60	清涼飲料
11	種苗	61	製氷
12	花き・花木類	62	飼料
13	その他の非食用耕種作物	63	有機質肥料（別掲を除く。）
14	酪農	64	たばこ
15	肉用牛	65	紡績糸
16	豚	66	綿・スフ織物（合繊短繊維織物を含む。）
17	鶏卵	67	絹・人絹織物（合繊長繊維織物を含む。）
18	肉鶏	68	その他の織物
19	その他の畜産	69	ニット生地
20	獣医業	70	染色整理
21	農業サービス（獣医業を除く。）	71	その他の繊維工業製品
22	育林	72	衣服
23	素材	73	その他の衣服・身の回り品
24	特用林産物（狩猟業を含む。）	74	その他の繊維既製品
25	海面漁業	75	製材
26	海面養殖業	76	合板・集成材
27	内水面漁業・養殖業	77	木材チップ
28	金属鉱物	78	その他の木製品
29	石炭・原油・天然ガス	79	家具・建具・装飾品
30	砂利・採石・碎石	80	パルプ
31	その他の鉱物	81	洋紙・和紙
32	食肉	82	板紙
33	肉加工品	83	加工紙
34	畜産びん・かん詰	84	紙製容器
35	酪農品	85	その他のパルプ・紙・紙加工品
36	冷凍魚介類	86	印刷・製版・製本
37	塩・干・くん製品	87	化学肥料
38	水産びん・かん詰	88	ソーダ工業製品
39	ねり製品	89	無機顔料
40	その他の水産食品	90	圧縮ガス・液化ガス
41	精穀	91	塩
42	製粉	92	その他の無機化学工業製品
43	めん類	93	石油化学基礎製品
44	パン・菓子類	94	石油化学系芳香族製品
45	農産びん・かん詰	95	有機化学中間製品・合成ゴム
46	農産保存食料品（びん・かん詰を除く。）	96	メタン誘導品
47	砂糖	97	可塑剤
48	でん粉	98	その他の有機化学工業製品
49	ぶどう糖・水あめ・異性化糖	99	熱硬化性樹脂
50	動植物油脂	100	その他の合成樹脂

表3 1980～2011年、7時点接続表部門表、部門一覧（2 / 4）

内生 305 部門（101～150）	内生 305 部門（151～200）
101 レーヨン・アセテート	151 建設用金属製品
102 合成繊維	152 建築用金属製品
103 医薬品	153 その他の金属製品
104 油脂加工製品・石けん・合成洗剤・界面活性剤	154 原動機
105 化粧品・歯磨	155 ポンプ・圧縮機
106 塗料	156 運搬機械
107 印刷インキ	157 冷凍機・温湿調整装置
108 写真感光材料	158 その他の一般産業機械及び装置
109 農薬	159 農業用機械、建設・鉱山機械
110 その他の化学最終製品	160 繊維機械
111 石油製品	161 金属工作機械
112 石炭製品	162 金属加工機械
113 舗装材料	163 化学機械
114 プラスチック製品	164 その他の一般機械器具及び部品
115 その他のゴム製品	165 事務用機械
116 ゴム製・プラスチック製履物	166 サービス用機器
117 革製履物	167 計測機器
118 製革・毛皮	168 医療用機械器具
119 かばん・袋物・その他の革製品	169 光学機械・レンズ
120 板ガラス・安全ガラス	170 武器
121 その他のガラス製品	171 電子管
122 セメント	172 半導体素子・集積回路
123 生コンクリート	173 その他の電子部品
124 セメント製品	174 重電機器
125 陶磁器	175 民生用電気機器（エアコンを含む。）
126 耐火物	176 電子応用装置
127 その他の建設用土石製品	177 電気計測器
128 炭素・黒鉛製品	178 電球類
129 研磨材	179 電気照明器具
130 その他の窯業・土石製品	180 その他の電気機械器具
131 銑鉄	181 ラジオ・テレビ受信機
132 フェロアロイ	182 電気通信機器
133 粗鋼	183 電子計算機・及び附属装置
134 熱間圧延鋼材	184 乗用車
135 鋼管	185 二輪自動車
136 冷間仕上鋼材及びめっき鋼材	186 自動車用内燃機関・同部分品
137 鋳鍛鋼	187 鋼船
138 鋳鉄管	188 その他の船舶
139 鋳鉄品及び鍛工品（鉄）	189 船用内燃機関
140 その他の鉄鋼製品	190 船舶修理
141 銅	191 鉄道車両
142 鉛・亜鉛（再生を含む。）	192 鉄道車両修理
143 アルミニウム（再生を含む。）	193 航空機
144 その他の非鉄金属地金	194 航空機修理
145 電線・ケーブル・光ファイバケーブル	195 自転車
146 伸銅品	196 その他の輸送機械
147 アルミ圧延製品	197 玩具・運動用品
148 非鉄金属素形材	198 身近細貨品
149 核燃料	199 時計
150 その他の非鉄金属製品	200 楽器・情報記録物

表4 1980～2011年、7時点接続表部門表、部門一覧 (3 / 4)

内生 305 部門 (201～250)	内生 305 部門 (251～300)
201 筆記具・文具	251 旅行・その他の運輸附帯サービス
202 畳・わら加工品	252 郵便・信書便
203 その他の製造工業製品	253 電気通信サービス
204 再生資源回収・加工処理	254 放送
205 住宅建築 (木造)	255 情報サービス
206 住宅建築 (非木造)	256 新聞
207 非住宅建築 (木造)	257 出版
208 非住宅建築 (非木造)	258 公務 (中央) ★★
209 建設補修	259 公務 (地方) ★★
210 道路関係公共事業	260 学校教育
211 河川・下水道・その他の公共事業	261 社会教育 (国公立) ★★
212 農林関係公共事業	262 社会教育 (非営利) ★
213 鉄道軌道建設	263 その他の教育訓練機関 (国公立) ★★
214 電力施設建設	264 その他の教育訓練機関 (産業)
215 電気通信施設建設	265 自然科学研究機関 (国公立) ★★
216 その他の土木建設	266 人文科学研究機関 (国公立) ★★
217 事業用電力	267 自然科学研究機関 (非営利) ★
218 自家発電	268 人文科学研究機関 (非営利) ★
219 都市ガス	269 自然科学研究機関 (産業)
220 熱供給業	270 人文科学研究機関 (産業)
221 上水道・簡易水道	271 企業内研究開発
222 工業用水	272 医療
223 下水道★★	273 保健衛生
224 廃棄物処理 (公営) ★★	274 社会保険事業★★
225 廃棄物処理 (産業)	275 社会福祉
226 卸売	276 介護
227 小売	277 対企業民間非営利団体
228 金融	278 対家計民間非営利団体 (別掲を除く。) ★
229 生命保険	279 物品賃貸業 (貸自動車を除く。)
230 損害保険	280 貸自動車業
231 不動産仲介・管理業	281 広告
232 不動産賃貸業	282 自動車整備
233 住宅賃貸料	283 機械修理
234 鉄道旅客輸送	284 法務・財務・会計サービス
235 鉄道貨物輸送	285 土木建築サービス
236 バス	286 労働者派遣サービス
237 ハイヤー・タクシー	287 建物サービス
238 道路貨物輸送 (自家輸送を除く。)	288 その他の対事業所サービス
239 自家輸送	289 映像・音声・文字情報制作業
240 自家輸送貨物	290 宿泊業
241 外洋輸送	291 飲食サービス
242 沿海・内水面輸送	292 洗濯・理容・美容・浴場業
243 港湾運送	293 映画館
244 航空輸送	294 興行場 (映画館を除く。)・興行団
245 貨物利用運送	295 競輪・競馬等の競走場・競技団
246 倉庫	296 スポーツ施設提供業・公園・遊園地
247 こん包	297 遊戯場
248 道路輸送施設提供	298 その他の娯楽
249 水運付帯サービス	299 写真業
250 航空付帯サービス	300 冠婚葬祭業

表5 1980～2011年、7時点接続表部門表、部門一覧（内生4/4）

	内生305部門（301～305）	
301	個人教授業	
302	各種修理業（別掲を除く。）	
303	その他の対個人サービス	
304	事務用品	
305	分類不明	

表6 1980～2011年、7時点接続表部門表、部門一覧（付加価値、最終需要）

	付加価値、行、319部門		最終需要、列、331部門
306	内生部門計	306	内生部門計
307	宿泊・日当	307	家計外消費支出（列）
308	交際費	308	家計消費支出
309	福利厚生費	309	対家計民間非営利団体消費支出
310	賃金・俸給	310	一般政府消費支出
311	社会保険料（雇用主負担）	311	国内総固定資本形成（公的）
312	その他の給与及び手当	312	国内総固定資本形成（民間）
313	営業余剰	313	在庫純増
314	資本減耗引当	314	調整項（在庫）
315	間接税（関税・輸入品商品税を除く。）	315	国内最終需要計
316	（控除）経常補助金	316	国内需要合計
317	ダブルインフレーション調整項	317	輸出（普通貿易）
318	粗付加価値部門計	318	輸出（特殊貿易）
319	国内生産額	319	輸出（直接購入）
		320	調整項（輸出）
		321	輸出計
		322	最終需要計
		323	需要合計
		324	（控除）輸入（普通貿易）
		325	（控除）輸入（特殊貿易）
		326	（控除）輸入（直接購入）
		327	（控除）関税
		328	（控除）輸入品商品税
		329	（控除）輸入計
		330	最終需要部門計
		331	国内生産額

表7 部門調整方法一覧、基本表（1 / 11）

	行							列						
	1980 年	1985 年	1990 年	1995 年	2000 年	2005 年	2011 年	1980 年	1985 年	1990 年	1995 年	2000 年	2005 年	2011 年
部門数	556	542	540	532	531	534	532	442	444	449	445	449	451	441
内生	543※	529	527	519	517	520	518	406	408	411	401※	405	407	397
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
2	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2
3	2	2	2	2	2	2	2	5	9	9	3	3	3	3
4	2	2	2	2	2	2	2	6	3	3	4	4	4	4
5	2	2	2	2	2	2	2	3	4	4	5	5	5	5
6	2	2	2	2	2	2	2	9	5	5	5	5	5	5
7	2	9	9	3	3	3	3	4	6	5	6	6	6	6
8	2	9	3	3	3	3	3	9	9	6	7	7	7	7
9	9	3	3	4	4	4	4	7	7	7	8	8	8	8
10	5	3	4	4	4	4	4	8	8	8	9	9	9	9
11	6	4	4	4	4	4	4	10	9	9	10	10	10	10
12	6	4	4	5	5	5	5	13	10	10	11	11	11	11
13	6	4	5	6	6	6	6	11	13	13	12	12	12	12
14	3	5	6	6	6	6	6	14	11	11	13	13	13	13
15	3	6	6	6	6	6	6	17	12	12	14	14	14	14
16	9	6	6	7	7	7	7	16	13	13	17	17	17	15
17	9	6	7	8	8	8	8	15	14	14	18	18	18	16
18	4	9	8	8	8	8	8	19	17	17	16	16	16	17
19	4	7	8	9	9	9	9	19	18	18	15	15	15	18
20	4	8	9	9	9	9	9	20	16	16	19	19	19	19
21	9	8	9	9	9	9	9	21	15	15	19	20	20	20
22	9	9	10	10	10	10	10	22	19	19	20	21	21	21
23	7	9	13	11	11	11	11	24	19	19	21	22	22	22
24	8	10	11	12	12	12	12	24	20	20	22	23	23	23
25	8	13	12	13	13	13	13	23	21	21	23	24	24	24
26	9	11	13	13	13	13	13	25	22	22	24	25	25	25
27	9	12	13	13	13	13	13	25	23	23	25	25	25	26
28	10	13	13	13	13	13	13	26	24	24	25	25	25	27
29	13	13	14	14	14	14	14	27	25	25	25	26	26	27
30	11	13	14	14	14	14	14	27	25	25	26	27	27	28
31	12	14	17	17	17	17	15	29	25	25	27	27	27	29
32	13	14	18	18	18	18	16	28	26	26	27	28	28	30
33	14	17	16	16	16	16	17	28	27	27	28	31	31	30
34	14	18	15	15	15	15	18	28	27	27	31	30	30	31
35	14	16	19	19	19	19	19	28	28	28	30	30	30	32
36	17	15	19	19	19	19	19	28	28	28	30	31	31	33
37	18	19	19	19	20	20	20	29	31	31	31	29	29	34
38	18	19	20	20	21	21	21	29	31	31	29	29	32	35
39	16	19	21	21	22	22	22	31	30	30	29	32	33	36
40	16	20	22	22	23	23	23	31	30	30	32	33	34	37
41	15	21	23	23	23	23	23	30	31	31	33	34	35	38
42	15	22	23	23	24	24	24	28	29	29	34	35	36	39
43	19	23	24	24	25	25	25	91	29	29	50	36	37	40
44	19	23	25	25	25	25	25	28	29	29	35	37	38	41
45	19	24	25	25	26	26	26	32	32	32	36	38	39	42
46	19	25	26	26	27	27	27	34	34	33	37	39	40	43
47	19	25	27	27	28	28	28	33	33	34	38	40	41	44
48	20	25	28	28	28	28	28	50	50	50	39	41	42	44
49	21	26	28	28	31	31	29	35	35	35	50	42	43	45
50	22	27	28	31	31	31	29	45	36	36	40	43	44	46

注1：部門番号は、「部門分類コード表」に番号を振ったものである。

注2：注1により、1980年の行（541部門）、1995年の列（403部門）のように、基本表の内生部門数が、公表値と一致していないことがある。

表8 部門調整方法一覧、基本表（2 / 11）

	行							列						
	1980 年	1985 年	1990 年	1995 年	2000 年	2005 年	2011 年	1980 年	1985 年	1990 年	1995 年	2000 年	2005 年	2011 年
51	24	27	28	31	30	30	29	45	37	37	41	44	44	47
52	24	28	31	30	30	30	30	38	38	38	42	44	45	48
53	24	28	31	30	31	31	30	39	39	39	43	45	46	49
54	23	28	30	31	29	29	31	40	50	50	44	46	47	50
55	23	28	30	29	29	29	31	36	40	40	44	47	48	51
56	25	31	31	29	29	29	31	37	41	41	45	48	49	52
57	25	31	29	29	32	32	32	50	42	42	46	49	50	53
58	26	30	29	29	32	32	32	41	43	43	47	50	50	54
59	27	30	29	32	32	32	32	42	44	44	48	50	51	54
60	27	31	29	32	32	32	32	44	45	44	49	51	52	54
61	29	29	32	32	32	32	32	47	47	45	50	52	53	54
62	29	29	32	32	33	33	33	50	48	46	51	53	54	55
63	29	29	32	32	34	34	34	51	49	47	52	54	54	56
64	29	29	32	33	35	35	35	43	50	48	53	54	54	57
65	28	29	32	34	35	35	35	48	46	49	54	54	54	58
66	28	29	33	50	36	36	36	49	91	50	54	54	55	59
67	28	32	34	35	37	37	37	91	51	91	54	55	56	60
68	28	32	50	35	38	38	38	61	53	51	54	56	57	61
69	28	34	35	36	39	39	39	59	52	52	55	57	58	62
70	28	33	35	37	40	40	40	52	54	53	56	58	59	63
71	29	50	36	38	41	41	41	62	55	54	58	59	60	64
72	29	50	37	39	41	41	41	55	56	54	57	60	61	65
73	29	35	38	50	42	42	42	56	58	55	58	61	62	66
74	29	35	39	40	42	42	42	58	57	56	59	62	63	67
75	31	36	50	41	43	43	43	57	58	58	60	63	64	68
76	31	37	40	41	44	44	44	58	59	57	61	64	65	69
77	30	38	41	42	44	44	44	60	60	58	62	65	66	70
78	28	39	41	42	45	45	45	64	61	59	63	66	67	71
79	91	50	42	43	46	46	46	65	62	60	64	67	68	72
80	28	40	42	44	47	47	47	65	63	61	65	68	69	72
81	32	41	43	44	47	47	47	65	64	62	65	69	70	73
82	32	41	44	45	48	48	48	65	65	63	66	70	71	74
83	32	42	44	46	49	49	49	65	65	64	67	71	74	74
84	32	42	45	47	50	50	50	65	65	65	68	74	74	74
85	32	43	46	47	50	50	50	65	65	65	69	74	71	75
86	34	44	47	48	50	50	50	67	65	65	70	71	72	76
87	33	44	47	49	50	50	50	67	66	65	71	72	72	77
88	50	45	48	50	51	51	51	66	67	65	74	72	73	78
89	50	47	49	50	52	52	52	68	68	66	74	73	74	79
90	35	47	50	50	53	53	53	66	68	67	71	74	74	79
91	35	47	50	51	54	54	54	68	69	68	72	74	75	79
92	45	48	50	52	54	54	54	68	70	68	72	75	76	79
93	45	49	91	53	54	54	54	68	202	69	73	76	77	80
94	38	50	91	54	54	54	54	70	71	70	74	77	78	81
95	39	50	51	54	55	55	55	69	74	71	74	78	79	82
96	40	50	52	54	56	56	56	202	74	74	75	79	79	83
97	36	46	53	54	57	57	57	202	71	74	76	79	79	83
98	37	91	54	55	58	58	58	74	72	71	77	79	80	84
99	50	91	54	56	59	59	59	71	73	72	78	80	81	84
100	41	51	55	58	60	60	60	74	74	73	79	81	82	85

表9 部門調整方法一覧、基本表（3 / 11）

	行							列						
	1980 年	1985 年	1990 年	1995 年	2000 年	2005 年	2011 年	1980 年	1985 年	1990 年	1995 年	2000 年	2005 年	2011 年
101	41	53	56	57	61	61	61	74	74	71	79	82	83	85
102	41	52	58	58	62	62	62	74	75	74	79	83	83	86
103	42	54	57	59	63	63	63	71	76	75	80	83	84	87
104	42	55	58	60	64	64	64	117	77	76	81	84	84	88
105	44	56	59	61	65	65	65	73	78	77	82	84	85	89
106	44	58	60	62	66	66	66	72	79	78	83	85	85	90
107	47	57	61	63	67	67	67	73	79	79	83	85	86	91
108	47	58	62	64	68	68	68	75	79	79	84	256	87	92
109	47	59	63	65	69	69	69	76	80	79	84	86	88	93
110	50	60	64	65	70	70	70	77	81	80	85	257	89	94
111	50	61	65	66	71	71	71	78	82	81	85	87	90	95
112	50	62	65	67	74	74	71	79	83	82	256	88	91	95
113	50	63	65	68	74	74	72	79	83	83	86	89	92	98
114	50	64	65	69	71	71	72	79	84	83	257	90	93	95
115	51	65	65	70	72	72	73	80	84	84	87	91	94	96
116	43	65	66	71	72	72	74	80	85	84	87	92	95	97
117	48	65	67	74	73	73	74	81	85	85	88	93	95	98
118	48	65	68	74	74	74	74	82	256	85	89	94	95	99
119	49	65	68	71	74	74	74	78	86	256	90	95	96	100
120	91	66	68	72	75	75	75	83	257	86	91	95	104	100
121	61	67	69	72	76	76	76	84	87	257	92	95	97	100
122	59	68	70	73	77	77	77	85	87	87	93	96	98	101
123	52	68	71	74	78	78	78	85	87	87	94	104	98	102
124	62	68	74	74	78	78	78	256	88	87	95	97	99	103
125	55	69	74	75	79	79	79	86	92	88	95	98	100	104
126	56	70	71	76	79	79	79	257	89	92	95	98	100	105
127	58	202	72	77	79	79	79	118	90	89	96	99	100	106
128	57	71	73	78	80	80	79	119	92	90	104	100	101	107
129	58	74	71	78	80	80	80	115	93	92	97	100	102	108
130	60	74	74	79	81	81	80	116	94	93	98	100	103	109
131	64	71	75	79	82	82	81	116	95	94	98	101	104	110
132	65	72	76	79	83	83	82	87	95	95	99	102	105	110
133	65	73	77	80	83	83	83	92	95	95	100	103	106	111
134	65	74	78	80	84	84	83	92	98	95	100	104	107	112
135	65	74	78	81	84	84	84	88	96	98	100	105	108	113
136	65	75	79	82	85	85	84	98	104	96	101	106	109	114
137	65	76	79	83	85	85	85	95	97	104	102	107	110	115
138	65	77	79	83	256	86	85	98	98	97	103	108	110	116
139	65	78	80	84	86	87	86	96	98	98	104	109	111	115
140	65	78	81	84	257	88	87	95	99	98	105	110	112	117
141	65	79	82	85	87	88	88	97	100	99	106	110	113	118
142	65	79	83	85	88	88	88	104	100	100	107	111	114	119
143	67	79	83	256	88	88	88	93	100	100	108	112	115	120
144	67	80	84	86	88	89	88	94	101	100	109	113	116	121
145	66	81	84	257	88	89	89	93	102	101	110	114	116	121
146	68	82	85	87	89	89	89	101	103	102	110	115	115	122
147	66	83	85	87	89	90	89	101	104	103	111	116	117	123
148	68	83	256	88	89	91	90	100	105	104	112	116	118	124
149	68	84	86	88	90	91	91	102	106	105	113	115	119	125
150	68	84	257	88	91	92	91	102	107	106	114	117	120	126

表10 部門調整方法一覧、基本表（4 / 11）

	行							列						
	1980 年	1985 年	1990 年	1995 年	2000 年	2005 年	2011 年	1980 年	1985 年	1990 年	1995 年	2000 年	2005 年	2011 年
151	70	85	87	88	91	93	92	102	108	107	115	118	121	127
152	69	85	87	89	92	93	93	102	109	108	116	119	121	128
153	202	256	87	89	93	93	93	102	110	109	116	120	122	129
154	202	86	87	89	93	94	93	99	110	110	115	121	123	130
155	74	257	88	90	93	94	94	100	111	110	117	121	124	131
156	71	87	88	91	94	94	94	100	112	110	118	122	125	132
157	74	87	88	91	94	94	94	100	113	111	119	123	126	133
158	74	87	88	92	94	95	94	87	114	112	120	124	127	133
159	74	87	92	93	94	95	95	87	115	113	121	125	128	134
160	71	88	89	93	95	95	95	87	116	114	121	126	129	135
161	117	88	89	93	95	95	95	87	116	115	122	127	130	136
162	73	88	89	94	95	95	95	109	115	116	123	128	131	136
163	72	88	90	94	95	95	95	89	117	116	124	129	132	137
164	73	92	92	94	95	95	95	90	118	115	125	130	133	138
165	75	89	93	94	95	95	95	98	119	117	126	131	133	139
166	76	89	93	95	95	95	95	110	120	118	127	132	134	140
167	77	89	93	95	95	95	95	106	121	119	128	133	135	140
168	78	90	94	95	95	95	95	103	121	120	129	133	136	141
169	78	92	94	95	95	95	95	104	122	121	130	134	136	142
170	79	93	94	95	95	95	95	105	123	121	131	135	137	143
171	79	93	94	95	95	96	98	107	124	122	132	136	138	144
172	79	93	95	95	95	104	95	203	125	123	133	136	139	145
173	80	94	95	95	96	97	96	110	126	124	133	137	140	145
174	80	94	95	95	104	98	97	170	127	125	133	138	140	146
175	81	94	95	95	97	98	98	108	128	126	134	139	141	147
176	82	94	95	95	98	99	99	110	129	127	135	140	142	148
177	78	95	95	95	98	100	100	111	130	128	136	140	143	149
178	83	95	95	95	99	100	100	112	131	129	136	141	144	150
179	83	95	95	96	100	100	100	112	132	130	137	142	145	151
180	84	95	95	104	100	100	100	113	133	131	138	143	145	152
181	85	95	95	97	100	100	100	126	134	132	139	144	146	153
182	85	95	95	98	100	100	100	127	135	133	140	145	147	153
183	256	95	95	98	100	100	100	120	136	133	140	145	148	153
184	86	95	95	99	100	101	101	121	136	134	141	146	149	153
185	257	95	98	100	100	102	102	125	137	135	142	147	150	153
186	118	95	96	100	101	103	103	122	138	136	143	148	151	154
187	119	95	104	100	102	104	104	128	139	136	144	149	152	154
188	115	95	97	100	103	104	104	129	140	137	144	150	153	154
189	115	95	98	100	104	105	104	130	140	138	145	151	153	155
190	116	98	98	100	104	106	105	123	141	139	145	152	153	156
191	116	96	99	100	105	107	106	124	142	140	146	153	153	157
192	87	104	100	101	106	108	107	130	142	140	147	153	153	158
193	92	97	100	102	107	109	108	131	143	141	148	153	154	158
194	92	98	100	103	108	110	109	132	144	142	149	153	154	159
195	88	98	100	104	109	110	110	133	145	142	150	153	154	159
196	88	99	100	104	110	110	110	134	146	143	151	154	156	160
197	88	100	100	105	110	111	110	135	147	144	152	154	157	164
198	88	100	100	106	110	111	111	136	148	145	153	154	155	163
199	88	100	101	107	111	111	111	137	149	146	153	156	164	164
200	98	100	102	108	111	111	111	137	150	147	153	157	158	161

表11 部門調整方法一覧、基本表（5 / 11）

	行							列						
	1980 年	1985 年	1990 年	1995 年	2000 年	2005 年	2011 年	1980 年	1985 年	1990 年	1995 年	2000 年	2005 年	2011 年
201	98	100	103	109	111	111	111	138	151	148	153	155	159	162
202	98	100	104	110	111	111	111	139	152	149	153	164	163	164
203	98	100	104	110	111	111	111	140	153	150	154	158	158	164
204	95	101	105	110	111	111	111	141	153	151	154	159	161	164
205	98	102	106	111	111	111	111	142	153	152	154	163	162	164
206	96	103	107	111	111	112	111	142	153	153	156	158	159	158
207	96	104	108	111	111	112	112	143	153	153	157	161	160	164
208	96	104	109	111	112	113	112	144	154	153	155	162	164	165
209	95	105	110	111	112	114	113	146	154	153	164	159	164	165
210	97	106	110	111	113	114	114	147	156	153	158	160	164	166
211	104	107	110	111	114	114	114	148	157	154	159	164	164	167
212	104	108	110	111	114	114	114	149	155	154	163	164	164	168
213	93	109	111	111	114	114	114	150	160	154	158	164	158	169
214	93	110	111	112	114	114	114	152	164	156	161	164	158	170
215	93	110	111	112	114	114	114	151	158	157	162	158	165	171
216	94	110	111	113	114	114	114	152	159	155	159	158	165	172
217	94	110	111	114	114	115	114	152	163	160	160	165	166	172
218	94	111	111	114	114	116	115	153	158	164	164	165	174	173
219	94	111	111	114	115	116	116	153	161	158	164	166	174	173
220	93	111	111	114	116	115	115	153	162	159	164	173	174	173
221	93	111	111	114	116	117	117	154	159	163	164	181	174	173
222	93	111	112	114	115	118	118	161	160	158	158	176	174	174
223	93	111	112	114	117	119	119	162	164	161	158	175	174	174
224	93	111	113	114	118	120	120	159	164	162	165	175	176	174
225	93	111	114	115	119	120	120	159	164	159	165	183	177	174
226	93	111	114	116	120	121	121	163	164	160	166	183	178	174
227	101	112	114	116	120	121	121	160	164	164	173	183	179	174
228	101	112	114	115	121	121	121	164	283	164	181	182	180	175
229	100	113	114	117	121	122	122	164	165	164	176	182	180	175
230	100	114	114	118	121	123	123	164	166	158	175	182	175	176
231	100	114	114	119	122	124	124	164	173	158	183	182	175	177
232	100	114	114	120	123	125	125	164	181	165	183	176	176	178
233	102	114	115	120	124	125	125	155	176	165	182	177	173	179
234	102	114	116	121	125	125	125	156	175	166	182	172	181	180
235	102	114	116	121	125	126	126	157	183	173	182	172	182	180
236	102	114	115	121	125	127	127	166	183	181	176	171	182	176
237	102	114	117	122	126	128	128	196	182	176	177	173	182	173
238	99	115	118	123	127	129	129	158	182	175	172	173	182	181
239	100	116	119	124	128	130	130	164	182	173	171	173	183	182
240	100	116	120	125	129	131	131	283	176	173	173	174	183	182
241	100	115	120	125	130	132	132	165	172	183	173	174	183	182
242	100	117	121	125	131	133	133	160	174	183	173	174	172	182
243	87	118	121	126	132	133	133	170	174	182	174	174	172	183
244	87	119	121	127	133	133	133	153	174	182	174	179	171	183
245	87	120	122	128	133	134	134	174	174	182	174	180	173	183
246	87	120	123	129	133	134	134	174	177	176	174	178	173	184
247	87	121	124	130	134	134	134	174	179	177	179	174	173	184
248	87	121	125	131	134	134	134	174	180	172	180	174	184	185
249	87	121	125	132	134	134	134	178	178	171	178	180	184	186
250	87	122	125	133	134	134	134	173	180	173	180	184	185	186

表12 部門調整方法一覧、基本表（6 / 11）

	行							列						
	1980 年	1985 年	1990 年	1995 年	2000 年	2005 年	2011 年	1980 年	1985 年	1990 年	1995 年	2000 年	2005 年	2011 年
251	109	123	126	133	134	135	135	181	180	174	180	184	184	187
252	89	124	127	133	134	135	135	175	180	174	180	185	186	188
253	89	125	128	134	135	136	136	183	171	174	184	184	186	189
254	89	125	129	134	135	136	136	180	182	174	184	186	187	190
255	89	125	130	134	136	136	136	176	182	179	185	186	188	191
256	89	126	130	134	136	137	137	171	283	180	184	187	189	192
257	90	127	131	134	136	137	137	172	184	178	186	188	190	193
258	98	128	132	134	137	138	138	182	184	180	186	189	191	194
259	110	129	133	135	137	139	139	177	185	180	187	190	192	195
260	106	130	133	135	138	139	139	179	184	180	188	191	193	196
261	103	130	133	136	139	140	140	283	186	184	189	192	194	197
262	104	131	134	136	139	140	140	145	184	184	190	193	195	197
263	105	132	134	137	140	141	141	187	282	185	191	194	196	198
264	107	133	134	137	140	142	142	188	187	184	192	195	169	199
265	203	133	134	138	141	143	143	190	188	186	193	196	169	200
266	110	134	134	139	142	144	144	191	189	186	194	169	199	201
267	110	134	134	139	143	144	144	196	190	187	195	169	167	202
268	170	134	135	140	144	145	145	192	191	188	196	199	167	200
269	108	134	135	140	144	145	145	184	192	189	169	167	168	203
270	110	134	136	141	145	146	146	282	193	190	169	167	197	204
271	111	134	136	142	145	147	147	185	194	191	199	168	197	205
272	111	135	137	143	146	148	148	195	195	192	167	197	200	206
273	111	135	137	144	147	149	149	193	196	193	167	197	200	207
274	111	136	138	144	148	150	150	194	283	194	168	200	201	208
275	111	136	139	145	149	151	151	196	169	195	197	200	198	209
276	111	137	139	145	150	152	152	283	169	196	197	201	202	210
277	111	137	140	146	151	153	153	167	199	169	200	198	170	211
278	111	138	140	147	152	153	153	167	167	169	200	202	203	212
279	111	139	141	148	153	153	153	168	167	199	201	170	204	213
280	111	139	142	149	153	153	153	283	168	167	198	203	205	214
281	112	140	142	150	153	153	153	169	283	167	202	204	206	215
282	112	140	143	151	153	153	153	169	197	168	170	205	207	216
283	112	141	144	152	153	153	153	199	197	197	203	206	208	217
284	113	142	144	153	153	153	153	197	200	197	205	207	209	217
285	113	142	145	153	153	153	153	200	201	200	206	208	210	217
286	126	143	145	153	153	154	154	114	198	200	207	209	211	218
287	126	143	145	153	153	154	154	201	170	201	208	210	212	219
288	127	144	146	153	154	154	154	198	203	198	209	211	213	220
289	120	144	147	153	154	156	155	203	205	202	210	212	214	221
290	121	145	148	153	154	157	156	205	206	170	211	213	215	222
291	125	145	149	153	156	155	157	206	207	203	212	214	216	223
292	125	145	150	153	157	164	158	207	208	205	213	215	217	224
293	125	146	151	154	155	158	158	208	209	206	214	216	217	225
294	122	147	152	154	164	159	158	209	210	207	215	217	217	226
295	128	148	153	154	158	163	159	210	211	208	216	217	218	227
296	129	149	153	156	159	158	159	211	212	209	217	217	219	228
297	130	150	153	157	163	161	160	212	213	210	217	218	220	229
298	123	151	153	155	158	162	164	213	214	211	217	219	221	230
299	124	152	153	164	161	159	164	214	215	212	218	220	222	231
300	124	153	153	158	162	160	164	215	216	213	219	221	223	232

表13 部門調整方法一覧、基本表（7 / 11）

	行							列						
	1980 年	1985 年	1990 年	1995 年	2000 年	2005 年	2011 年	1980 年	1985 年	1990 年	1995 年	2000 年	2005 年	2011 年
301	130	153	153	159	159	164	164	216	217	214	220	222	224	233
302	131	153	153	163	160	164	164	217	217	215	221	223	225	233
303	133	153	153	158	164	164	163	217	217	216	222	224	226	234
304	132	153	154	161	164	164	164	217	218	217	223	225	227	235
305	133	153	154	162	164	164	164	218	219	217	224	226	228	236
306	134	153	154	159	164	164	161	219	220	217	225	227	229	237
307	134	153	156	160	164	164	162	220	221	218	226	228	230	238
308	135	153	157	164	164	164	164	221	222	219	227	229	231	239
309	135	154	155	164	164	164	164	222	223	220	228	230	232	240
310	136	154	160	164	164	164	164	223	224	221	229	231	233	241
311	136	156	164	164	164	158	164	224	225	222	230	232	233	242
312	137	157	158	164	158	158	158	225	226	223	231	233	234	243
313	137	155	159	164	158	165	164	226	227	224	232	233	235	244
314	138	160	163	164	165	165	165	227	228	225	233	234	236	245
315	139	164	158	164	165	166	165	228	229	226	234	235	237	246
316	139	158	161	164	166	166	166	229	230	227	235	236	238	247
317	140	159	162	158	166	166	166	230	231	228	236	237	239	248
318	141	163	159	158	166	174	166	231	232	229	237	238	240	249
319	142	158	160	165	173	174	167	233	233	230	238	239	241	249
320	142	161	164	165	181	174	168	232	235	231	239	240	242	250
321	142	162	164	165	176	174	169	235	234	232	240	241	243	250
322	142	159	164	165	175	174	170	234	234	233	241	242	244	250
323	143	160	164	166	175	174	171	235	236	234	242	243	245	251
324	143	164	164	166	183	174	172	236	237	235	243	244	246	252
325	143	164	164	166	183	176	172	237	238	236	244	245	247	253
326	144	164	164	173	183	177	173	239	245	237	245	246	248	253
327	146	164	164	181	182	178	173	238	239	238	246	247	249	253
328	147	164	158	176	182	179	173	245	240	245	247	248	249	253
329	148	164	158	175	182	180	173	240	241	239	248	249	250	254
330	149	164	165	183	182	180	174	248	242	240	249	249	250	254
331	150	164	165	183	176	175	174	241	243	241	249	250	250	254
332	152	164	165	182	177	175	174	242	244	242	250	250	251	255
333	151	164	165	182	172	176	174	243	246	243	250	250	252	255
334	152	283	166	182	172	173	174	249	247	244	250	251	253	289
335	152	165	166	176	171	181	174	249	248	246	251	252	253	256
336	152	165	166	177	173	182	174	244	249	247	252	253	253	257
337	153	165	173	172	173	182	175	250	249	248	253	253	253	258
338	153	165	181	172	173	182	175	250	250	249	253	253	254	259
339	153	166	176	171	174	182	176	251	250	249	253	253	254	260
340	134	166	175	173	174	183	177	246	251	250	253	254	254	260
341	134	166	173	173	174	183	178	252	252	250	254	254	255	261
342	154	173	173	173	174	183	179	253	253	251	254	254	255	262
343	161	181	183	174	174	172	180	253	253	252	254	258	289	263
344	162	176	183	174	179	172	180	253	253	253	258	259	256	264
345	159	175	182	174	180	171	176	258	254	253	259	260	257	265
346	159	183	182	174	178	173	173	259	254	253	260	260	288	266
347	163	183	182	174	174	173	181	260	254	254	260	261	258	267
348	160	182	176	179	174	173	182	260	258	254	261	262	259	268
349	164	182	177	180	180	184	182	265	259	254	262	263	260	269
350	164	182	172	178	184	184	182	266	260	258	263	264	260	270

表14 部門調整方法一覧、基本表（8 / 11）

	行							列						
	1980 年	1985 年	1990 年	1995 年	2000 年	2005 年	2011 年	1980 年	1985 年	1990 年	1995 年	2000 年	2005 年	2011 年
351	164	176	172	180	184	185	182	267	260	259	264	265	261	271
352	164	172	171	180	185	184	183	268	265	260	265	266	262	272
353	164	172	173	180	184	186	183	260	266	260	266	267	263	272
354	164	174	174	184	186	186	183	261	267	261	267	268	264	272
355	164	174	174	184	186	187	184	262	268	262	268	269	265	272
356	155	174	174	185	187	188	184	263	260	263	269	270	266	272
357	156	174	174	184	188	189	185	264	261	264	270	271	267	273
358	157	174	174	186	189	190	186	265	262	265	271	272	268	273
359	157	177	179	186	190	191	186	266	263	266	272	272	269	274
360	166	179	180	187	191	192	187	269	264	267	272	272	270	275
361	166	180	178	188	192	193	188	270	265	268	272	273	271	275
362	166	178	180	189	193	194	189	271	266	269	273	273	272	275
363	196	180	180	190	194	195	190	272	269	270	273	274	272	276
364	158	180	180	191	195	196	191	272	270	271	273	274	272	276
365	164	180	184	192	196	196	192	272	271	272	274	275	273	277
366	283	171	184	193	196	169	193	273	272	272	274	275	273	278
367	165	182	185	194	169	169	194	273	272	272	275	276	274	279
368	160	182	184	195	169	199	195	273	272	273	275	276	274	280
369	170	283	186	196	199	167	196	274	273	273	277	277	275	281
370	153	184	186	196	167	167	196	274	273	273	278	278	275	282
371	174	184	187	169	167	168	197	275	273	274	281	281	275	283
372	174	185	188	169	168	197	197	275	274	274	255	255	276	284
373	174	184	189	199	197	197	198	277	274	275	288	288	276	285
374	174	186	190	167	197	200	199	278	275	275	279	279	277	286
375	178	184	191	167	200	200	200	281	275	277	280	280	278	287
376	173	282	192	168	200	201	201	255	277	278	282	282	281	288
377	181	187	193	197	201	198	202	288	278	281	283	283	279	288
378	175	188	194	197	198	202	200	287	281	255	287	287	280	290
379	183	189	195	200	202	170	203	284	255	288	284	284	282	291
380	180	190	196	200	170	203	204	285	288	279	285	285	283	292
381	176	191	196	201	203	204	205	288	279	280	286	286	287	292
382	171	192	169	198	204	205	206	279	279	282	288	288	284	292
383	172	193	169	202	205	206	207	279	280	283	289	289	285	292
384	182	194	199	170	206	207	208	280	287	287	293	293	286	292
385	177	195	167	203	207	208	209	289	284	284	294	294	288	293
386	179	196	167	205	208	209	210	293	285	285	297	297	293	294
387	283	196	168	206	209	210	211	294	288	286	295	295	294	295
388	145	283	197	207	210	211	212	297	289	288	296	296	297	296
389	145	169	197	208	211	212	213	295	293	289	294	294	295	297
390	187	169	200	209	212	213	214	294	294	293	298	298	296	298
391	188	199	200	210	213	214	215	298	297	294	291	291	298	299
392	190	167	201	211	214	215	216	254	295	297	291	291	291	300
393	191	167	198	212	215	216	217	291	294	295	291	291	291	301
394	196	168	202	213	216	217	218	291	298	296	290	290	291	302
395	192	283	170	214	217	218	219	290	291	294	292	292	290	303
396	184	197	203	215	218	219	220	292	291	298	292	292	292	304
397	184	197	205	216	219	220	221	292	291	291	292	292	292	305
398	282	200	206	217	220	221	222	292	290	291	292	292	292	306
399	185	201	207	218	221	222	223	292	292	291	299	299	292	307
400	195	198	208	219	222	223	224	299	292	290	300	300	292	308

表15 部門調整方法一覧、基本表（9 / 11）

	行							列						
	1980 年	1985 年	1990 年	1995 年	2000 年	2005 年	2011 年	1980 年	1985 年	1990 年	1995 年	2000 年	2005 年	2011 年
401	193	170	209	220	223	224	225	300	292	292	302	302	299	309
402	194	203	210	221	224	225	226	302	292	292	301	301	300	310
403	196	205	211	222	225	226	227	301	299	292	303	303	302	310
404	283	206	212	223	226	227	228	304	300	292	304	304	301	310
405	167	207	213	224	227	228	228	247	302	299	305	305	303	310
406	167	208	214	225	228	228	228	305	301	300	306	306	304	310
407	168	209	215	226	228	228	228	306	304	302	307	307	305	310
408	283	210	216	227	228	228	229	307	305	301	308	308	306	310
409	169	211	217	228	228	229	230	308	306	303	309	309	307	310
410	169	212	218	228	229	230	231	309	307	304	310	310	308	311
411	199	213	219	228	230	231	232	310	308	305	310	310	309	312
412	197	214	220	228	231	232	233	310	309	306	310	310	310	313
413	200	215	221	229	232	233	233	311	310	307	310	310	310	313
414	114	216	222	230	233	233	234	312	310	308	311	310	310	313
415	201	217	223	231	233	234	235	313	311	309	312	310	310	313
416	198	218	224	232	234	235	236	313	312	310	313	310	310	314
417	203	219	225	233	235	236	237	313	313	310	313	311	310	315
418	205	220	226	234	236	237	238	313	313	311	313	312	310	316
419	206	221	227	234	237	238	239	313	313	312	313	313	310	317
420	207	222	228	235	238	239	240	317	313	313	313	313	311	318
421	208	223	228	236	239	240	241	318	313	313	315	313	312	319
422	209	224	228	237	240	241	242	319	317	313	316	313	313	321
423	210	225	228	238	241	242	242	322	318	313	317	314	313	322
424	211	226	229	239	242	242	243	323	319	…	318	315	313	323
425	212	227	230	240	242	243	244	324	322	315	319	316	313	324
426	213	228	231	241	243	244	244	325	323	316	320	317	315	325
427	214	228	232	242	244	244	244	326	324	317	322	318	316	326
428	215	228	233	242	244	244	244	327	325	318	323	319	317	327
429	216	228	234	243	244	244	245	328	326	319	324	320	318	328
430	217	229	234	244	244	245	246	329	327	320	325	321	319	329
431	218	230	235	244	245	246	247	330	328	322	326	322	320	330
432	219	231	236	244	246	247	248	…	329	323	327	323	321	…
433	220	232	237	244	247	248	249	…	330	324	328	324	322	…
434	221	233	238	245	248	249	249	…	…	325	329	325	323	…
435	222	235	245	246	249	249	250	…	…	326	330	326	324	…
436	223	235	239	247	249	250	250	…	…	327	…	327	325	…
437	224	234	240	248	250	250	250	…	…	328	…	328	326	…
438	225	234	241	249	250	250	251	…	…	329	…	329	327	…
439	226	235	242	249	250	251	252	…	…	330	…	330	328	…
440	227	236	242	250	251	252	253	…	…	…	…	…	329	…
441	228	237	243	250	252	253	253	…	…	…	…	…	330	331
442	228	238	244	250	253	253	253	331	…	…	…	…	…	
443	228	245	244	251	253	253	253		…	…	…	…	…	
444	228	239	244	252	253	253	254		331	…	…	…	…	
445	229	240	244	253	253	254	254			…	331	…	…	
446	230	241	246	253	254	254	254			…		…	…	
447	231	242	247	253	254	254	255			…		…	…	
448	233	242	248	253	254	255	255			…		…	…	
449	232	243	249	254	258	255	255			331		331	…	
450	235	244	249	254	259	255	289						…	

注1：列の「…」は、接続表を作成する際に使わない部門であることを意味する。

注2：最終需要部門、輸出部門で、合計の値を計算し直す作業が必要なことがある。

表16 部門調整方法一覧、基本表（10 / 11）

	行							列						
	1980 年	1985 年	1990 年	1995 年	2000 年	2005 年	2011 年	1980 年	1985 年	1990 年	1995 年	2000 年	2005 年	2011 年
451	235	244	250	254	260	289	256						331	
452	234	244	250	258	260	256	257							
453	234	244	251	259	261	257	258							
454	235	246	252	260	262	288	259							
455	236	247	253	260	263	258	260							
456	237	248	253	261	264	259	260							
457	239	249	253	262	265	260	261							
458	238	249	254	263	266	260	262							
459	245	250	254	264	267	261	263							
460	240	250	254	265	268	262	264							
461	248	251	258	266	269	263	265							
462	241	252	259	267	270	264	266							
463	242	253	260	268	271	265	267							
464	242	253	260	269	272	266	268							
465	243	253	261	270	272	267	269							
466	249	254	262	271	272	268	270							
467	249	254	263	272	273	269	271							
468	244	254	264	272	273	270	272							
469	244	258	265	272	274	271	272							
470	244	259	266	273	274	272	272							
471	244	260	267	273	275	272	272							
472	250	260	268	273	275	272	272							
473	250	265	269	274	276	273	273							
474	251	266	270	274	276	273	273							
475	246	267	271	275	277	274	274							
476	252	268	272	275	278	274	275							
477	253	260	272	277	281	275	275							
478	253	261	272	278	281	275	275							
479	253	262	273	281	255	275	276							
480	258	263	273	281	255	276	276							
481	259	264	273	255	288	276	277							
482	260	265	274	255	279	277	278							
483	260	266	274	288	279	278	279							
484	265	269	275	279	279	281	279							
485	266	270	275	279	279	281	279							
486	267	271	277	279	279	279	279							
487	268	272	278	279	280	279	279							
488	260	272	281	279	282	279	280							
489	261	272	281	280	283	279	281							
490	262	273	255	282	287	279	281							
491	263	273	288	283	284	280	282							
492	264	273	279	287	285	282	283							
493	265	274	279	284	286	283	284							
494	266	274	279	285	288	287	285							
495	269	275	279	286	289	284	286							
496	270	275	279	288	293	285	287							
497	271	277	280	289	294	286	288							
498	272	278	282	293	297	288	288							
499	272	281	283	294	295	293	290							
500	272	255	287	297	296	294	291							

表17 部門調整方法一覧、基本表（11 / 11）

	行							列						
	1980 年	1985 年	1990 年	1995 年	2000 年	2005 年	2011 年	1980 年	1985 年	1990 年	1995 年	2000 年	2005 年	2011 年
501	273	288	284	295	294	297	292							
502	273	279	285	296	298	295	292							
503	273	279	286	294	291	296	292							
504	274	280	288	298	291	298	292							
505	274	287	289	291	291	291	292							
506	275	284	293	291	290	291	293							
507	275	285	294	291	292	291	294							
508	277	288	297	290	292	290	295							
509	278	289	295	292	292	292	296							
510	281	293	296	292	292	292	297							
511	255	294	294	292	299	292	298							
512	288	297	298	292	300	292	299							
513	287	295	291	299	302	292	300							
514	284	294	291	300	301	299	301							
515	285	298	291	302	303	300	302							
516	288	291	290	301	304	302	303							
517	279	291	292	303	305	301	304							
518	279	291	292	304	306	303	305							
519	280	290	292	305	307	304	306							
520	289	292	292	306	308	305	307							
521	293	292	299	307	309	306	308							
522	294	292	300	308	310	307	309							
523	297	292	302	309	311	308	310							
524	295	299	301	310	312	309	311							
525	294	300	303	311	313	310	312							
526	298	302	304	312	314	311	313							
527	254	301	305	313	314	312	314							
528	254	304	306	314	315	313	314							
529	254	305	307	315	316	314	315							
530	291	306	308	316	318	314	316							
531	291	307	309	318	319	315	318							
532	290	308	310	319		316	319							
533	292	309	311			318								
534	292	310	312			319								
535	292	311	313											
536	292	312	314											
537	299	313	315											
538	300	314	316											
539	302	315	318											
540	301	316	319											
541	304	318												
542	247	319												
543	305													
544	306													
545	307													
546	308													
547	309													
548	310													
549	311													
550	312													
551	313													
552	314													
553	315													
554	316													
555	318													
556	319													